

コミュニケーション・スタイル簡易診断表

(出典: 図解コーチング流タイプ分けをやってアプローチするとうまくいく)

人には4つの血液型があるように、人間関係のコミュニケーションの取り方にも、タイプがあるようです。

どれが良いとか、悪いとかではなく、自分のタイプを知り、相手のタイプを知ることによって、それぞれの**価値観の違い**に気がつき、あなたはあなた、私は私と素直に受け止められれば、今よりずっと**人との関係**が楽に、楽しくなると思います。

回答の際の注意点

診断表に回答する時のポイントですが、

なるべく 1(とてもあてはまる)か 4(あてはまらない)でお答えください。

どうしても 2(あてはまる)か 3(あまりあてはまらない)という場合はそれで結構ですが、1(とてもあてはまる)か 4(あてはまらない)で回答いただくと、タイプがはっきり出ると思います。

「ご家庭での自分」と「仕事の時の自分」、シチュエーションや役職によって違う場合もあるかと思えます。今回は、「**ご家庭での自分**」を**意識して**ご回答ください。

また、「こうありたい、こうあるべき」という思いで回答すると、本質から外れてくる場合があります。

質問に対して「**今の自分はどうか？**」を**振り返りながら**回答いただけたらと思います。

あなたの日常での人との関わり方やものの考え方を振り返り、設問を読み、該当する数字をお書きください。

1 = よく当てはまる

2 = あてはまる

3 = あまりあてはまらない

4 = あてはまらない

番号	設問	回答
1	自己主張することが下手だと思う	
2	常に未来に対して、情熱を持っていない方だ	
3	他人のためにしたことを感謝されないと悔しく思うことがよくある	
4	嫌なことは嫌と、はっきり言える	
5	人にはなかなか気を許さない	
6	人から楽しい人だとよく言われる	
7	短い時間にできるだけ多くのことをしようとする	
8	失敗しても立ち直りが早い	
9	人からものを頼まれるとなかなかノーとは言えない	
10	たくさんの情報を検討してから決断を下す	
11	人の話を聞くことよりも、自分が話していることのほうが多い	
12	どちらかという人見知りをする方だ	
13	自分と他人をよく比較する	
14	変化に強く対応力がある	
15	何事も自分の感情を表現することが苦手だ	
16	相手の好き嫌いに関わらず、人の世話をしてしまう	
17	自分が思ったことはストレートに言う	
18	仕事の出来栄えについて人から認められたい	
19	競争心が強い	
20	何事にも完全にしないと気がすまない	

【採点方法】

A～D タイプがあります。

① 各設問番号の下に回答の数字をお書きください。(設問番号は順不同になっています。設問と回答をご確認しながらご記入ください)

回答の数字(1～4)をご記入後、足し算をしていき、合計の下にお書きください。

② 計算式に従って最終の点数を出してください。

(例 【A タイプ】、合計が20の場合 → 11-合計(20)=最終の点数(-9)

合計が5の場合 → 11-合計(5)=最終の点数(6) となります。

★A タイプ ①各設問に対しての回答数字を記入後、回答数字を足し算し、合計を記入

設問	4	7	17	19	20	合計
回答						

② 11-合計()=最終の点数()

★B タイプ ①各設問に対しての回答数字を記入後、回答数字を足し算し、合計を記入

設問	2	6	8	11	14	合計
回答						

② 12-合計()=最終の点数()

★C タイプ ①各設問に対しての回答数字を記入後、回答数字を足し算し、合計を記入

設問	3	9	13	16	18	合計
回答						

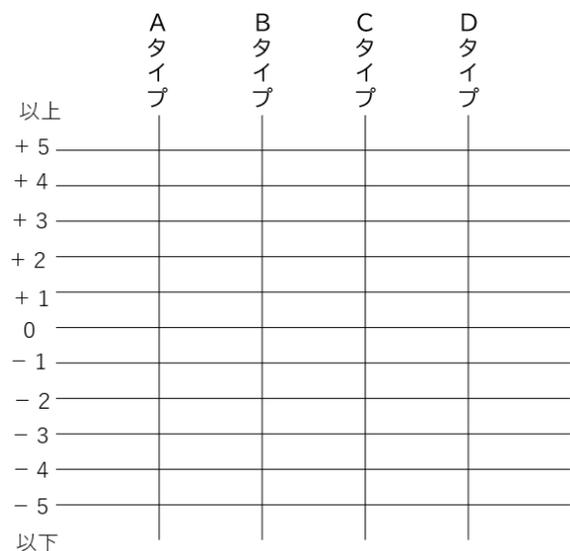
③ 12-合計()=最終の点数()

★D タイプ ①各設問に対しての回答数字を記入後、回答数字を足し算し、合計を記入

設問	1	5	10	12	15	合計
回答						

④ 13-合計()=最終の点数()

【グラフに A～D の最終点数をマークしましょう】



【採点方法】にて算出された各 A～D タイプの最終の点数を左のグラフにマークしてみてください。一番数値の高いものが、あなたの傾向の高いタイプです。

※A タイプ、B タイプ、C タイプ、D タイプの詳細は当日にお伝えいたします。